

科学技術振興機構（JST） 研究プロジェクト「自閉症に優しい社会：共生と治療の調和の模索」
金沢大学学生・教職員対象自閉症サイエンスカフェ

自閉症と現代社会：大学生期の自閉症早期発見と支援

—心の悩みや各種の精神疾患を含めて—

今いくつかの大学で自閉症を含む発達障害のある学生の早期発見と支援が話題になり始めています。在学中の学業や人間関係の悩み、就職活動・研究活動での困難を示す学生や院生の中に、自閉症やそれに似た状態を示すケースがかなり存在すると、専門家の間では考えられ始めています。早期に発見し、不適応に陥らず充実した大学生活を送れるようにする対応が求められます。一方、大学生時代は精神疾患の好発期でもあります。今回の自閉症サイエンスカフェでは、大人の自閉症の診断はどうするのか、自閉症の生物的背景は何か、必要な治療や支援とそのため大学の仕組みはどんなものか等、大学生期の自閉症とその早期発見に焦点を当てながら、統合失調症やうつ病などの各精神疾患など、大学生期に対応が必要な精神健康の危機を広くカバーする議論を、カフェとしてカジュアルな形式で行います。

開催日時・・・H22年 1月13日（水）17時～19時

場所・・・金沢大学総合教育棟 A1

参加費・・・無料

コーディネーター：大井 学（JST 研究プロジェクト代表・学校教育系教授・連合大学院小児発達学研究科副研究科長）

パネリスト

東田陽博・医学系教授（脳細胞遺伝子学）、三邊義雄・医学系教授（精神医学）、棟居俊夫・子どものこころの発達研究センター特任准教授、高橋和子・子どものこころの発達研究センター特任助教、青野透・大学教育開発支援センター長、鈴木健一・保健管理センター准教授ほか

学生・教職員パネル（募集中）

コメンテーター 中島章雄・石川県発達障害者支援センター長、加藤晴美・ジョブカフェ石川ジョブ・サポーター

問い合わせ先

医学系研究科脳細胞遺伝子学教室内 連合大学院事務

TEL：076-265-2458 FAX：076-234-4236

事務担当：相川 静 E-mail:coebrain@med.kanazawa-u.ac.jp

<http://ristex-kanazawa.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

